

INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客さんが主役です！

連日の猛暑もようやく一段落してくるのかなという週末の予報。でも、まだまだ日差しは強いので、コースサイドで観戦しているみなさん、熱中症には十分気をつけてください。こまめに水分を摂取することが何より大事ですが、もしも観戦中気分が悪くなったり調子の悪い方がいたら、すぐ近くに

いれるオフィシャルに声をかけてください。今年も熱い期待できそうな「名阪スポーツランド」。今回レイアウトが変わっています。パドックを繋ぐアスファルト道路に面したストレートがショートカットされました。その分観戦場所が少なくなりましたが、全体が見える1コーナーアウト側の山の斜面や直後の180°左コーナーを取り囲むエリアなど、サンドコースならではのダイナミックな走りを間近で楽しんでください。

サンドコースは砂浜を走ることをイメージすれば想像できると思うんですが、前に進むのがとにかく大変。そこを数十馬力のマシンが掘り返すので路面はどんどん荒れて変化します。見た目は同じでもライダーにとっては毎回違うコースに挑むようなもの。ある意味オフロードの醍醐味と言っているでしょう。アクセル全開の加速とスピード

をどう維持するか。ライダーたちのテクニックにまずは注目してください。レース開始前にはサイティングラップという下見走行の時間があるんですが、その時に選手の紹介があります。全員が戻ってくるのに5分くらいかかるので、出陣するライダーたちに声援を送ってから、好みの観戦ポイントに移動するのもアリです。

一カ所に陣取って全体を見るなら1コーナーを見下ろす斜面がお勧め。コースサイドでライダーに声援を送るならトンネルを潜った先と道路側の新設コーナーがオススメ。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年からIA1が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白がIA2、青地に白がIB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の成田選手とIA2の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。

予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。ここまで読んで「????」となってしまう方、スタートゲートの後方で販売している公式プログラムをぜひ手に入れ

レーシングサービスエリアにてブース出展しています。

安全性能の追求！
株式会社アライヘルメット
〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL (048) 641-3825
http://www.arai.co.jp/

モータースポーツからツーリングまでバイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

てください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身のXX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。公式プログラムは1部500円。観戦の記念にもぜひどうぞ。

パドック巡りも観戦の大きな楽しみの一つです。

土曜日は各クラスの練習走行、予選、IB Open Heat1の決勝。日曜日は練習走行のあと各クラスの決勝、そして最後はエキシビションの2ストローククラスまで、レースは朝から夕方まで延々と続きます。練習走行のタイムや予選の走りを見て、決勝で誰が上位に来るか予想するのも楽しいですが、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れますよね。そんな時はパドックにも出かけてみてください。

今大会、日曜日のお昼休みには、国別対抗戦モトクロス・オブ・ネイションズの日本代表チーム壮行会が行われます。それ以外にも、各メーカー、チーム毎にトップライダーのサイン会やプレゼントが貰えるじゃんけん大会など様々なイベントや展示が行われています。たまたますれ違ったライダーと写真を撮ったり、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらおうとか、多くのライダーが用意しているゼッケンシールを集めるとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらえます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、持ち帰って2枚重ねて縫い合わせるのと、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

走り終わって砂まみれになったマシンをあっと言う間にピカピカにしてしまうメカニックさんの仕事ぶりにも注目。また、第1パドックに陣取るワークスチームでは、将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高める

作業を行っています。メーカーの威信を背負うライダーももちろんですが、プロメカニックの仕事ぶりも一見の価値があります。

Technix suspension service
WWW.technix.jp

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが今年もやっています。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの画像やインサイドレポートを手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが今年もやっています。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。

編集後記

本当に暑かった今年の夏。そんな中で、アメリカで活動する鈴鹿出身の下田丈選手がプロデビューを果たすなど数多くの話題がありました。厳しい夏をどう過ごしてきたか。ライダーにとっては真価を問われる大会でもあります。モトクロスは本当に激しくスリリングで、時には危険も伴うスポーツです。当然、他のレジャーでは味わえない楽しさや感動、魅力があります。いきなりレースというのはもちろん無謀ですが、関西地区にはレンタルバイクで気軽に体験できる施設がたくさんあります。大会本部や地元ของทีมに訪ねれば、きっと情報を教えてくれるはず。この秋、まずは体験走行からモトクロスデビューしてみたいかがでしょう。

全日本モトクロス選手権は、この大会が終わると2戦を残すのみ。第7戦九州大会は熊本、最終戦MFJ-GPは宮城での開催。どちらもちょっと遠いですが、タイトル決定の瞬間や全力を出し切った最後のドラマ、感動の瞬間をぜひ見届けに来てください!!
MXING & MC Square 木田 淑



全日本モトクロス選手権シリーズ第6戦近畿大会は9月14~15日に今年も奈良県山辺郡山添村の名阪スポーツランドで開催される。全8戦の短期決戦となったシーズンは早くも終盤戦へ。目下、IA1クラスは最多勝、最多タイトル共に前人未踏の記録を更新し続ける成田 亮が、IA2は初タイトルへと突き進む横山遥希がポイント争いをリード。しかし栄光への勝負はこれからだ。クライマックスに向かって、絶対に負けられない本当の戦いがここから始まる。

快進撃を続ける大ベテラン成田 vs.再逆転を狙う山本の一騎打ち

ホンダのホームでチームメイト同士が激しい火花を散らした開幕戦九州大会。結果はタイトル奪還をめざす山本 鯨(#400)がスタートから1度もトップを譲らぬ走りでも二ヒートに圧勝。しかし第2戦関東大会ではディフェンディングチャンピオン成田 亮(#114)が山本との激闘を制して今季初勝利をマーク。ランキングトップの座を山本から奪い取った。39歳の大ベテラン成田の勢いは衰えを知らない。第3戦中国大会、第4戦 SUGO と勝ち星を重ねた成田は、第5戦東北でも山本と優勝を分け合い、通算優勝回数を160へと伸ばし今大会を迎えた。もちろんこの牙城を崩そうとするライバルたちも黙ってはいない。現在ランキング2位の山本にとってここ名阪スポーツランドは最も相性がいいコースの一つ。第3戦中国大会で逆転勝利を飾った深谷 広一(#51/スズキ)、ヤマハのエースとしてIA1クラス2年目のシーズンに臨む地元の岡野 聖(#8)。大塚 豪太(#155/ホンダ)や

2019 9/14-15 Round 6 KINKI No.223

制作・発行/MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町申野御田中62
Tel. & Fax. 050-15865147
E-mail: kida@mxing.com
HP: http://www.mxing.com

出力・印刷/東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住南屋町9-27
Tel. 03-5284-1173 Fax. 03-5284-1174
HP: http://www.topc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会発行・無料

Preview-MEIHAN Sports Land

Photo/K.Kida

星野優位(#166/ヤマハ、小島庸平(#44/ホンダ)らが懸命に成田を追いかける。カワサキワークスの小方 誠(#4)、新井 宏彰(#331)の怪我による欠場は残念だが、星野 裕(#6/ホンダ)や小林 秀真(#46/スズキ)、安原 志(#45/カワサキ)もなんとか優勝争いに加わりたところ。国内最高峰のハイレベルバトルを先ずは堪能して欲しい。

ポイントリーダー横山を追う地元の大倉、今年も接戦のIA2!

チャンピオン古賀 太基(カワサキ)とランキング2位の能塚 智寛(ホンダ)が海外に活動拠点を移動したため、今年も王者不在となったIA2クラスは優勝候補の筆頭小川 孝平(#912/カワサキ)までが開幕直前の怪我で長期欠場を強いられ混迷が深まった。そんな中一躍存在をアピールしたのが横山 遥希(#386/カワサキ)だ。アメリカ仕込みのアグレッシブなライディングで開幕戦パーフェクトVを達成した横山は、第2戦でも総合優勝を飾り一気にタイトル争いの主役へと躍

り出た。一方第3戦中 国大会では大城魁之輔(#40/ホンダ)と大倉 由揮(#36/ヤマハ)が、第4戦 SUGO では鳥谷 部 晃 太(#37/ヤマハ)がA級初優勝を飾り、1年間のブランクを経て復帰してきた平田 優(#81/ヤマハ)と共に横山を攻撃する。この流れに続きたい内田 篤基(#38/スズキ)や道脇 右京(#43/ホンダ)ら新世代ライダーたちにも注目したい。

LMXクラスは初タイトルへ本田が加速 竹内、川井はどこまで迫れるか!?

新女王の畑尾 樹 瑠(#1/ホンダ)の世界チャレンジでこちらもチャンピオン不在となったレディークラス。そんな中、圧倒的な速さで開幕戦を制して主役の座に躍り出たのが本田 七海(#6/ヤマハ)だ。第2戦関東大会ではマシンをスズキからハスクバーナにスイッチした久保 真 菜(#5)、第3戦中国大会では3度目の王座返り咲きを飾るが、本田はSUGO、東北と連勝して混戦を抜け出した。川井 麻 央(#2/ホンダ)を含めた4人のバトルはまだまだ注目。彼女たちの熱いレースもぜひ間近に感じて欲しい。

コースサイドの声援がレースを盛り上げる。大きな声とアクションで応援しながら、トップライダーたちの全力バトルを堪能して欲しい。

2019 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

| | | | |
|-----|--------|-----------|-----------------|
| 第1戦 | 九州大会 | 4月13~14日 | 熊本県/HSR九州 |
| 第2戦 | 関東大会 | 5月11~12日 | 埼玉県/オフロードヴィレッジ |
| 第3戦 | 中国大会 | 6月1~2日 | 広島県/グリーンパーク弘楽園 |
| 第4戦 | SUGO大会 | 7月6~7日 | 宮城県/スポーツランドSUGO |
| 第5戦 | 東北大会 | 7月20~21日 | 岩手県/藤沢スポーツランド |
| 第6戦 | 近畿大会 | 9月14~15日 | 奈良県/名阪スポーツランド |
| 第7戦 | 九州大会 | 10月12~13日 | 熊本県/HSR九州 |
| 第8戦 | MFJ GP | 10月26~27日 | 宮城県/スポーツランドSUGO |

全日本モトクロス選手権 第6戦 近畿大会 開催おめでとうございます。

Rev's your Heart

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。